

保護者のための

# 就活 ハンドブック

就職活動に「情報力」  
ブンナビ bunnabi.jp  
文化放送就職ナビ

× 読売新聞

文化放送キャリアパートナーズ  
就職情報研究所

2023

## はじめに

保護者の皆さんの時と比べて、今の新卒採用はとても複雑です。情報を得るためのツールやサービスは膨大に増え、選考ルートも複雑化が進んでいます。どのタイミングで、何からはじめればよいのか自分に合った就職先をどう探せばいいのか…。初めての就職活動を前にして、多くの不安と向き合うことになります。

昨今の社会環境の変化が、さらに拍車をかけます。長期かつ年功序列を前提とした日本的雇用システムは、すでに曲がり角を迎えています。AIなどのテクノロジー導入やオンライン化により、仕事の進め方や職場の風景は、どんどん変化していくでしょう。先が見えない時代の中で、キャリア選択すること自体、大きなストレスと言えます。

新卒採用は比較的安定した求人ニーズを維持していますが、数字以上に学生を疲弊させる要因にあふれています。1人で就職活動を乗り切るのは難しいでしょう。身近な大人の支援が必要です。就職活動に必要な情報をこの一冊にまとめました。成長を見守ってきた保護者として、また先輩社会人として、就職活動を支援する際の一助としていただければ幸いです。

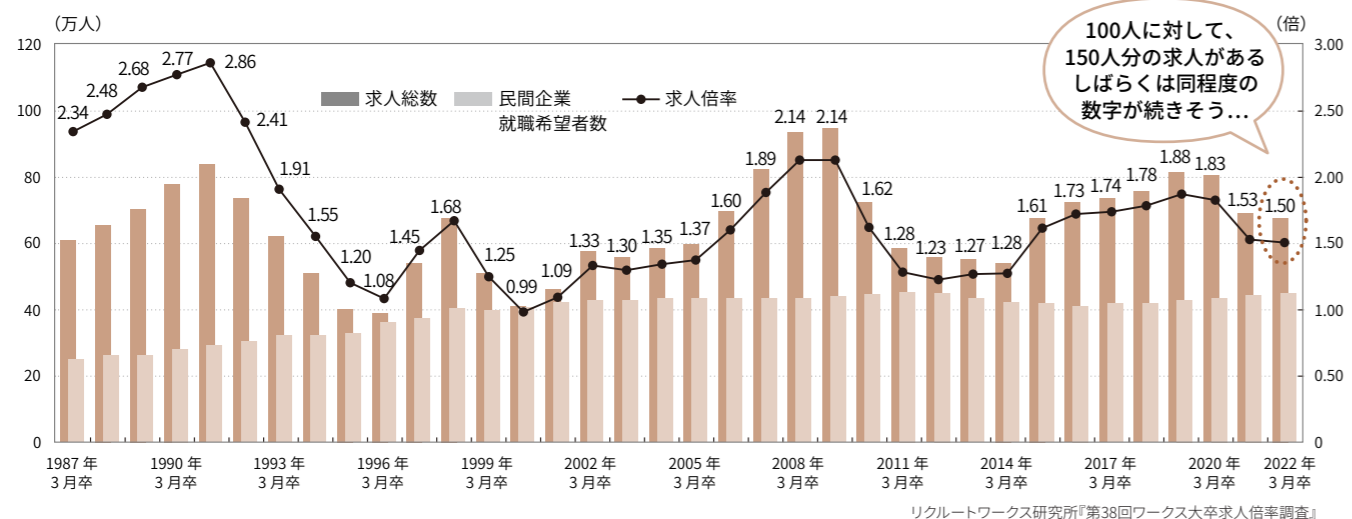
## 目次

現在の新卒採用市場	3
就職活動スケジュール	4
就活支援サービスの多様化	5
インターンシップと採用の関係	6
オンライン就活	7
保護者として求められる支援	8
ブンナビ×読売新聞が企業に聞いてみた	9
公務員採用について	10
知っておくと便利な就活用語	13
コラム①「就活で親がやってはいけないこと、やるべきこと」	14
コラム②「考え抜くことで逆境を乗り越える」	15

## ◆ 現在の新卒採用市場

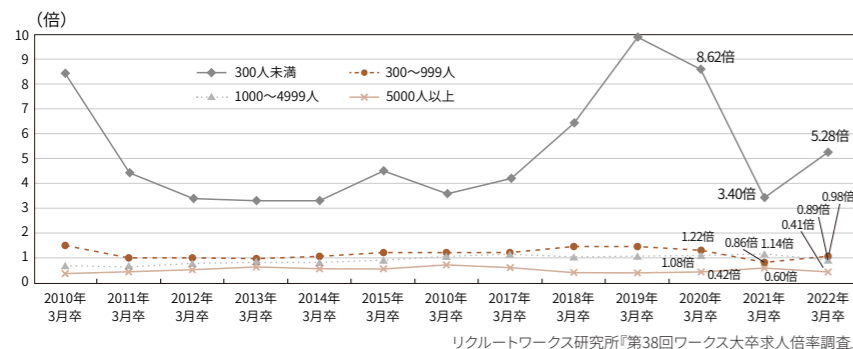
民間企業に就職を希望する学生に対し、求人割合を示している「求人倍率」をご覧ください(図1)。直近データの2022年卒では、1.50倍となっています。これは100人の学生に対して、150人分の求人があることを意味します。過去の数字を見ていくと、1倍を下回ったのは1度きりです(2000年卒0.99倍)。リーマンショック以降も1.3倍弱を維持していました。景気変動の影響はあるものの、少子高齢化を背景に今後も堅調な市場が続くと予想されます。

図1 新卒求人倍率の推移(求人倍率=求人総数/民間企業就職希望者数)



しかし、従業員規模別に見ると、数字は大きく変化します(図2)。1,000人以上の大手企業では、基本的に1倍を超えることはありません。5,000人以上では0.5倍前後となり、希望学生の半分しか求人はありません。誰もが知っている有名企業、一般消費者をターゲットとする大手BtoC企業など、就職人気ランキングの上位企業(図3)ともなれば、内定を得るのは至難の業と言えるでしょう。

図2 企業規模別の推移(求人倍率=求人総数/民間企業就職希望者数)



300人未満の中堅・中小企業は、景気による上下はあるものの、一貫して高い求人倍率を維持しています。大手企業だけに絞った就職活動はリスクが高いので、あえて志望企業の規模を分散させる手法は有効です。中堅・中小企業の優良性を、学生が見分けるのは困難でしょう。先輩社会人としてのアドバイスや情報提供は、効果的な支援となるはず。

図3 就職ブランドランキング

総合順位	企業名	前年比
1	伊藤忠商事	→
2	日本生命保険	↑
3	大和証券グループ	↑
4	明治グループ(明治・Meiji Seikaファルマ)	↑
5	博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ	↑
6	損害保険ジャパン	↑
7	大日本印刷	↑
8	三菱商事	↑
9	東京海上日動火災保険	↑
10	SMBC日興証券	↑

<調査主体>文化放送キャリアパートナーズ就職情報研究所  
<調査対象>2022年春入社希望のプランビ会員

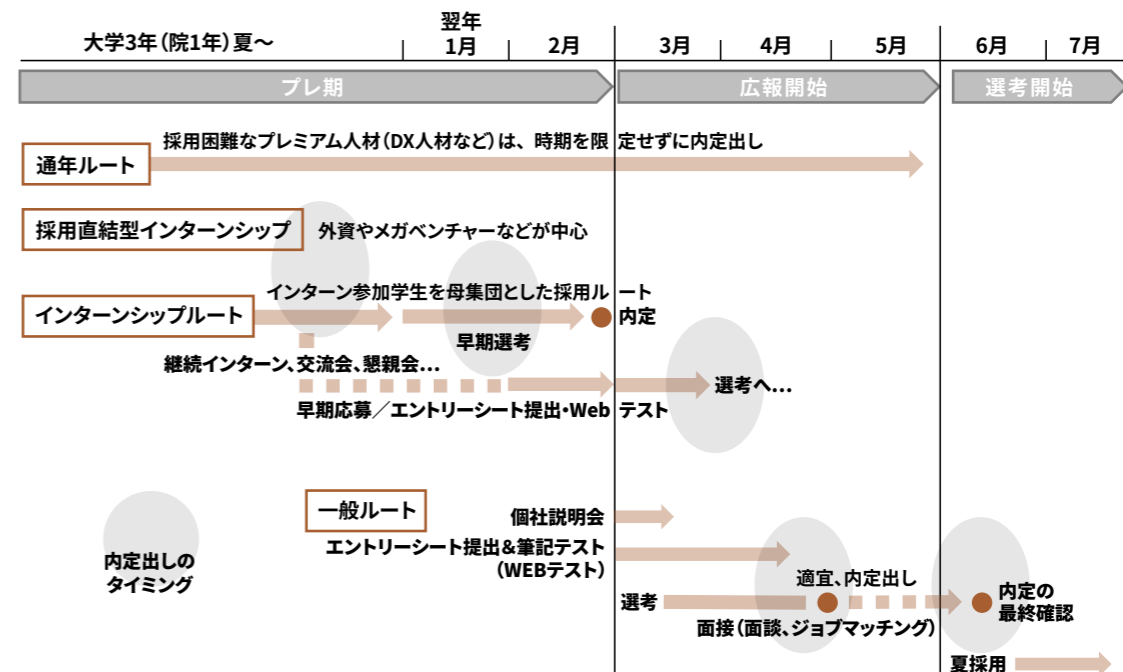
### <新型コロナにおける影響>

「航空、運輸」「旅行、宿泊」分野は、もうしばらく厳しい状況が続くでしょう。合理化による業態変化が進んでいるため、仕事内容そのものが変化する可能性があります。ダイナミックな変革が起きているため、刺激のある分野とも言えます。ネット通販などの「eコマース」分野は、巣ごもり需要によってプラスの影響を受けています。関連して「倉庫、物流」も活況です。ロジスティクスなどのBtoB企業は学生が着目しにくい分野なので、狙い目の1つでしょう。

## ◆ 就職活動スケジュール

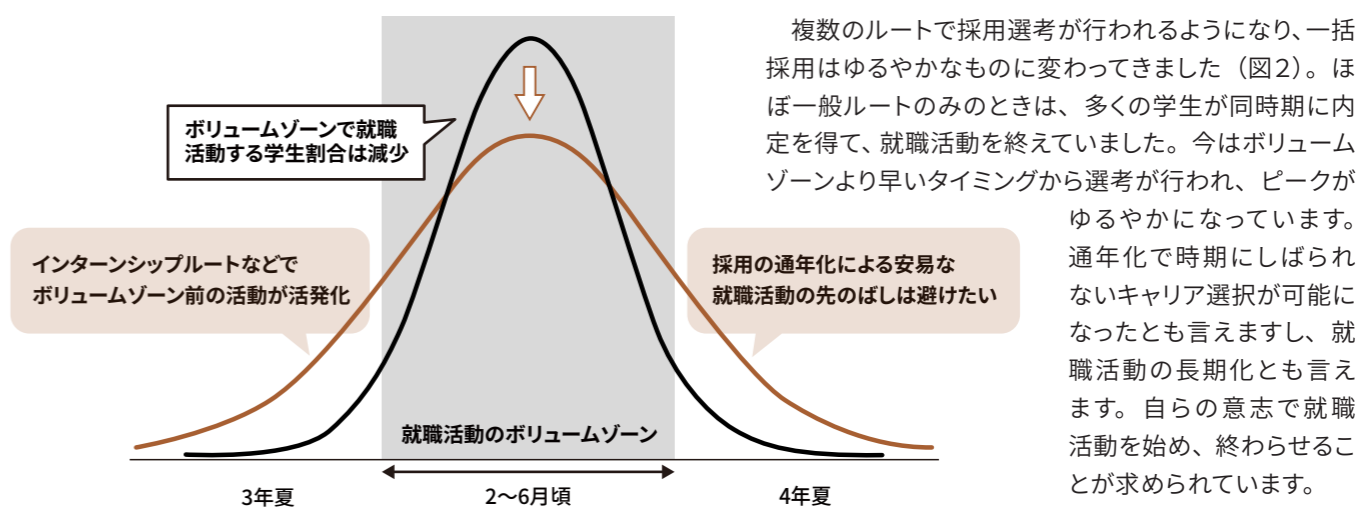
今の就職活動には2つのスケジュールがあります。1つは政府主導のもの、もう1つがリアルな現場主導のものです。政府主導は3年の3月に広報開始(求人情報の公開、エントリー開始)、4年の6月に選考開始(面接の実施)となります。しかし、リアルな現場スケジュールで見れば、就職活動は3年の夏インターンシップから始まっていると言えます(図1)。

図1 リアルな就職活動スケジュール



広報開始前のプレ期には、多くの企業がインターンシップや支援イベントを行います。この段階で、学生はいくつかのプログラムに参加しながら、志望業界などを決めていきます。3月には本格的な選考がスタートし、徐々に内定出しが進んでいきますが、政府スケジュールに配慮する日系大手企業では、6月の内定出しが多くなります。これが一般ルートの大まかな流れです。他ルートでは、インターンシップから早期選考や早期応募につながるインターンシップルートの増加が目立ちます。外資やメガベンチャーなどで行われる採用直結型インターンシップ、採用困難なプレミアム人材を対象とした通年ルートなど、新卒採用は年々複雑化が進んでいます。

図2 ゆるやかな一括採用(ピークがある通年採用)



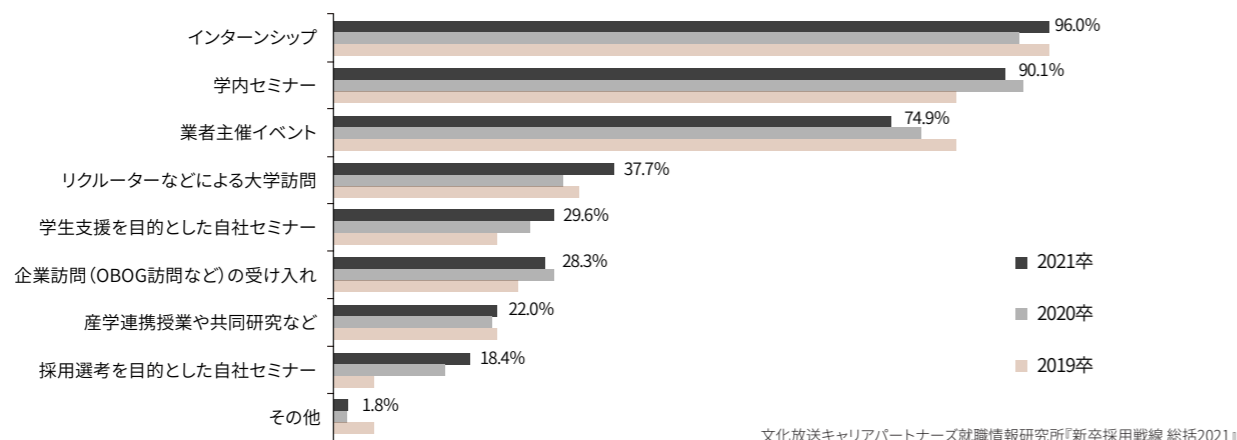
### <ジョブ型採用>

最近メディアでよく目にする言葉ですが、日本の新卒時におけるジョブ型採用は、欧米とは少し異なります。「配属先や仕事内容を限定したコース別採用」という表現が近いでしょう。ジョブ型の内定を得たときは、入社後のキャリアチェンジなど適性に配慮したキャリア形成が可能か、確認することをお勧めします。

## ◆ 就活支援サービスの多様化

学生と企業が出会う手段は多様化しています。企業にプレ期の学生接触について尋ねたところ、トップの「インターンシップ」以外にも、「学内セミナー」や「業者主催のイベント」など、高い割合で実施していることがわかります(図1)。「リクルーターなどによる大学訪問」「学生支援を目的とした自社セミナー」「企業訪問(OBOG訪問など)の受け入れ」といった準備や対応に手間のかかるものでも3割前後の企業が実施し、増加傾向にあります。入口の多チャンネル化は、今後さらに進むでしょう。

図1 学生との接触機会



文化放送キャリアパートナーズ就職情報研究所『新卒採用戦線 総括2021』

新卒採用の支援サービスも多様化が目立ちます(図2)。就職ナビサイト以外にも特色あるサービスが増えたことで、自分に合った方法で就職活動を進めることができるようになりました。同時に、選択するストレスも生じています。逆求人サイトに登録しようか、新卒エージェントってどうなんだろう、マッチングイベントにも参加した方が良いのかな…など、判断に迷う学生は少なくありません。就職活動は正解のない意思決定の連続です。各サービスの特徴を理解し、先輩情報などを参考に、自ら考え決めていく必要があります。就職活動は社会人になるためのトレーニングでもあるのです。

図2 新卒支援サービス一覧

	特徴	主なサービス
就職ナビサイト	多くの学生が利用するマス型の就職情報サイト 大手、中堅・中小企業、官公庁、公益法人など幅広い組織に利用されている	マイナビ、リクナビ、ブナビ…など
分野特化型ナビサイト	特定の学生を対象にした就職情報サイト 体育会や理系などの属性別、看護師などの職種別、マスコミなどの業界別などがある	アスリートナビ、スポナビ、理系ナビ、文化放送ナースナビ
逆求人サイト(スカウト採用)	企業が登録学生をスカウトする就職サイト 登録時に自己PRや課外活動、専攻分野などを入力。興味を持った学生に企業からオファーを出し、マッチングが成立したら選考にすすむ	OfferBox、dodaキャンパス、LabBase(理系)
新卒エージェント(人材紹介)	新卒を専門にした人材紹介 キャリアアドバイザーがニーズにあった企業を紹介する エントリーシートや面接指導なども行う	doda新卒エージェント、マイナビ新卒紹介、GoodFind(ベンチャー)
インターンシップ	インターンシップに特化した情報サイト 長期や有給インターンなどが多く紹介されている。社員に近い仕事経験が可能	Infra、JEEK、Wantedly
マッチングイベント採用	企業と学生をつなげるイベントサイト 少人数での対話やグループディスカッションなど、様々なイベントを実施している	ミーツカンパニー、ジョブコミットチャレンジ
リファラル採用	社員が人材を紹介するための採用支援サービス 新卒採用の場合、内定者や新入社員が後輩を紹介して採用につなげるケースが多い	MyRefer、Refcome

### <注意したい支援サービス>

就職支援サービスの1つに「就活塾」があります。適切なキャリアカウンセリングや選考対策を行っているところも多くありますが、なかには高額なプランや教材を強く勧めるといった悪質なケースも見られます。就活塾の利用を検討する際は、保護者も一緒にサービス内容を確認することをお勧めします。

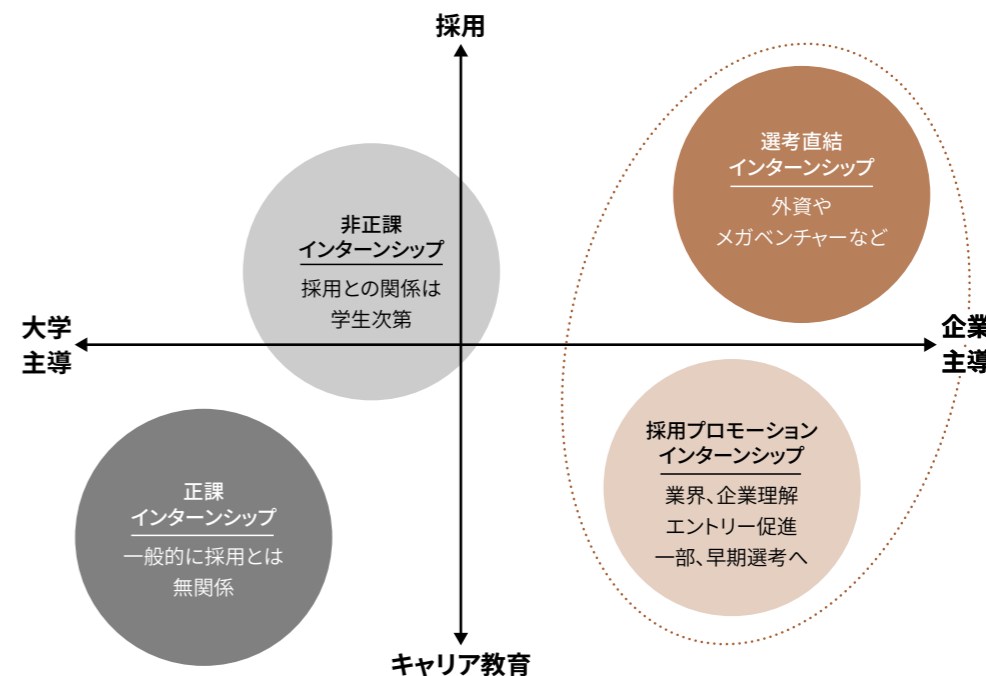
### <ブラックインターンについて>

インターンシップは就業体験による適性判断などを目的とするため、多くの場合は無給です。それを悪用して、社員並みの過剰な労働を学生に強いるブラックインターンが一部に存在します。お子さんが長期インターンシップに参加する場合は、さりげなく仕事内容を確認しておくとお心でしよう。

## ◆ インターンシップと採用の関係

就職活動の一環として定着しているインターンシップですが、国の方針では「教育目的」となっているため、大学主導のインターンシップでは採用とのつながりが薄くなります。大学3年時に参加するインターンシップは企業主導のものがほとんどで、間接的に(一部は直接的に)採用とつながっています(図1)。経団連と国公私立大学の代表で構成された「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」の報告書では、採用選考を視野に入れたインターンシップを推進しているため、今後さらに採用とのつながりは強化されていくでしょう。

図1 インターンシップの種類



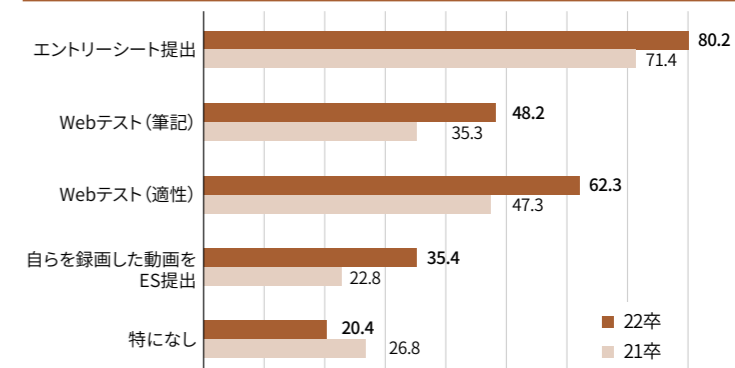
企業主導のインターンシップは、期間を目安にいくつかのタイプに分けられます(図2)。半日から1日のプログラム(※)では、企業PRを目的としたセミナー形式が多く、人数制限が少ないオンラインでの実施が増えています。2~3日以上プログラムでは、受け入れ人数を制限し、事前選考を行うケースが増えます。期間が1週間以上と長く、選抜性の高い事前選考を行うタイプは、採用とのつながりが強いと言えるでしょう。最近の傾向としては、事前選考の実施割合が増えています(図3)。エントリーシート提出は約10ポイント増の80.2%、Webテストは15ポイント程度の増加で5~6割の学生が経験しています。できるだけ多くの学生情報を得て、スムーズに早期選考につなげたい企業側の意向を感じます。

※就業体験が十分に確保できないため、インターンシップとは呼ばずに、「1Day仕事体験」「オープン・カンパニー」などと表記されるケースが多い。

図2 企業主導のタイプ別インターンシップ

タイプ	期間	特徴
企業PRタイプ	半日~1日	企業理解&ファン作り、事前選考なしが多い
適性理解タイプ	2~3日	事前選考の有無は企業による
関係作りタイプ	1週間程度	事前選考が多い、親密な関係作り
選考直結タイプ	5~10日程度	優秀者に内定出し、主に外資やメガベンチャーなど
部門配属タイプ	2週間以上(長期)	主に理系学生やJOB型採用の学生が対象

図3 インターンシップ応募時に行なったこと(複数回答)



文化放送キャリアパートナーズ就職情報研究所『ブナビ学生アンケート調査(22卒11月)』

事前選考の増加により、インターンシップ応募時に選考落ちる学生が増えています。なかには自信を失い、就職活動から離れてしまう学生もいます。インターンシップ選考は本選考よりも狭き門になることが多々あります。インターンシップで落ちて本選考で内定を得た先輩もいます。事前選考の結果はあまり気にせず、様々なインターンシップに参加することをお勧めします。

## ◆ オンライン就活

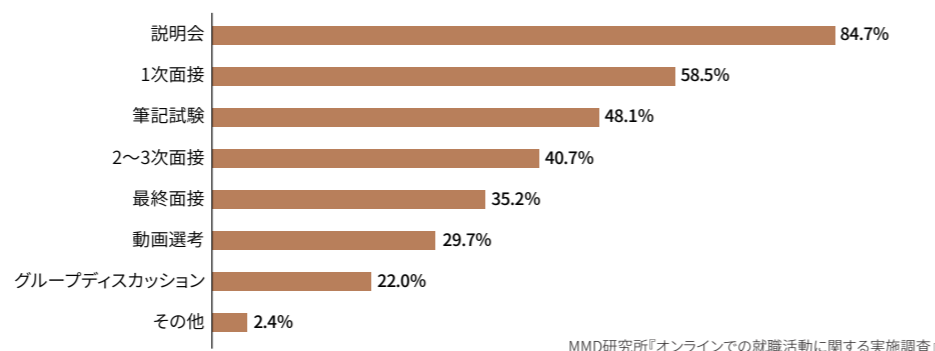
今やオンライン抜きの就職活動は考えられません。特に説明会や1次面接では、多くの学生がオンラインを経験しています(図1)。筆記試験や1次面接を経て、ある程度人数が絞り込まれてくると、徐々に対面が増えていきます。選考ステップ別にオンラインと対面の使い分けが進んでいるようです。

最近の傾向として「動画選考」を行う企業が目立ってきました。自己PR動画の提出や、面接官の質問動画に回答していくタイプの選考です。この「動画選考」の場合、評価するのは人だけでなくAIも分析・評価している場合があります。伝えたいことを明確にして、端的で分かりやすい表現が求められます。

一般的なオンライン面接は、ZoomやMicrosoft Teams、Googlemeetなどの会議システムを使い、面接官とリアルタイムで実施します。

オンラインでは間合いが取りにくい、会話のキャッチボールが難しいなど、対面とは異なる特徴があります。必要な事前準備を整えて、オンラインの対話に慣れておくことが大切です。

図1 オンラインでおこなった就職活動



### <必要な事前準備>

- Webカメラ(カメラ付きパソコン)
- マイク付イヤホン
- 安定した通信環境(20Mbps程度は確保、有線LAN接続を推奨)
- 落ち着いて面接を受けられる場所(背景、明るさなどに注意)

必要な準備を整えた上で、本番に近い状況でカメラアングル、音声の聞こえ具合、通信速度の安定感、背景の映り込みや明るさなどを一通りチェックしておきましょう。前述したように、オンライン面接には慣れが必要です。事前に面接練習を行っておけば、落ち着いて選考に臨めるでしょう。オンライン面接の「確認チェックリスト」を作成しました。これを見ながら、お子さんと一緒にリハーサルしてみるのもよいかもしれません。

説明会や面接のスケジュールも共有しておきましょう。その時間はプライバシーに配慮し、選考に集中できるように、ご協力をお願いします。オンラインだからこそ環境を整えるには、ご家族の支援が必要です。

### ● 確認チェックリスト ●

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> (前日まで) 同条件下でのリハーサル        | <input type="checkbox"/> (当日) 資料の見直し(履歴書、パンフレットなど) |
| <input type="checkbox"/> (前日まで) 背景の映り込みや明るさの確認     | <input type="checkbox"/> (30分前) アクセス先URLなど 面接方法の確認 |
| <input type="checkbox"/> (前日まで) 家族への連絡&来訪(宅急便など)対応 | <input type="checkbox"/> (30分前) カメラ&マイクのチェック       |
| <input type="checkbox"/> (当日) 服装、髪形などの身だしなみを整える    | <input type="checkbox"/> (少し前) 身だしなみの最終チェック        |

## ◆ 保護者として求められる支援

学生から社会人の移行には、意図的な成長が必要です。親世代では生活の中で自然と身に付いていた種類の成長ですが、社会インフラやマーケットが整い、他者との交流が少ないまま大人になってしまう環境によって、成熟をうながすトレーニングが必要になってきました。また、商品やサービスの質が向上したため、提供者に求められる知識やスキルは上がっています(図1)。未成熟を残した学生が提供者になるには、周囲の大人による支援とトレーニングが求められます。

親子の関わりでは、社会的「自立」をうながすアプローチが有効です。3つのポイントを紹介しましょう。

### ①「教える」ではなく「情報提供」

親が考える適切な方法は教えずに、あえて「～を調べてみたら」と情報提供にとどめましょう。

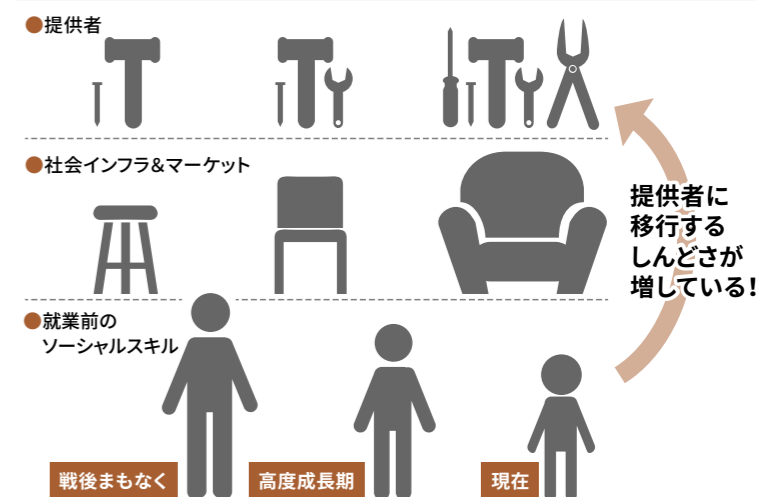
### ②本人に意思決定させて、尊重する

意思決定する機会を多く与えて、本人の決定は否定せず受け入れましょう。

### ③失敗はチャレンジした証しなので褒める!

失敗することでしか学べないことがあります。褒めて勇気づけましょう。

図1 大人(社会人)になりにくい社会環境



就職活動の時期は、別の支援も求められます。

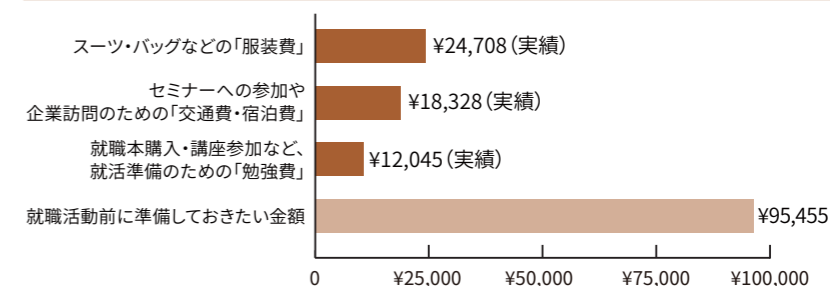
① **金銭的援助** / オンライン化により交通費の負担は軽減しましたが、WEBカメラなどの機器や通信費など、別費用がかかるようになりました(図2)。就職活動に必要な費用について、お子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか。

② **話し相手** / 就職活動の話題をふられたら、できるだけ聞き役に徹しましょう。ネガティブな発言はポジティブに言い換えて、物事の良い面に目が向くよう支援すると良いでしょう。

③ **心理的安全の保証** / 就活中は他者からの評価にさらされ、ストレスを感じるが多くなります。家庭ではリラックスできる環境をつくってあげましょう。

就職活動のオンライン化にともない「交通費・宿泊費」「服装費」は、それほど費用がかからなくなっています。一方で、通信環境を整えたり、Webカメラなどの機器を購入したり、従来とは異なる費用が発生しています。企業研究のために有料情報サイトを活用するなど「勉強費(情報費)」の重要性は、今後さらに増すでしょう。必要に応じた金銭的援助をご検討ください。

図2 就職活動にかかる費用



### <親の対応でうれしかったこと>

就職活動を経験した学生コメントから「親の対応でうれしかったこと」をまとめました。お子さんの個性によって関わり方は異なります。参考意見としてご覧ください。

文化放送キャリアパートナーズ就職情報研究所「ブナビ学生アンケート調査(22年5月)」

#### ■ 日常生活のスタンス

- 自分から話すまで何も言わないで、相談したときは親身に話を聞いてくれた
- 周りの人と比べるのではなく、自分の話を聞いてくれた
- 落ち込んだとき、ポジティブに励ましてくれた
- 家でリラックスできる環境を作ってくれた
- 就活に行き詰まったとき、理由を聞かずにおいしいご飯を用意してくれた
- 親の価値観を押しつげずに、自分の意思を尊重してくれた

#### ■ 先輩社会人としてのスタンス

- 社会人としてのアドバイスや励ましの言葉がうれしかった
- 客観的な視点でエントリーシートにアドバイスをくれた
- 業界や企業に関する情報提供はありがたかった

#### ■ 具体的な支援

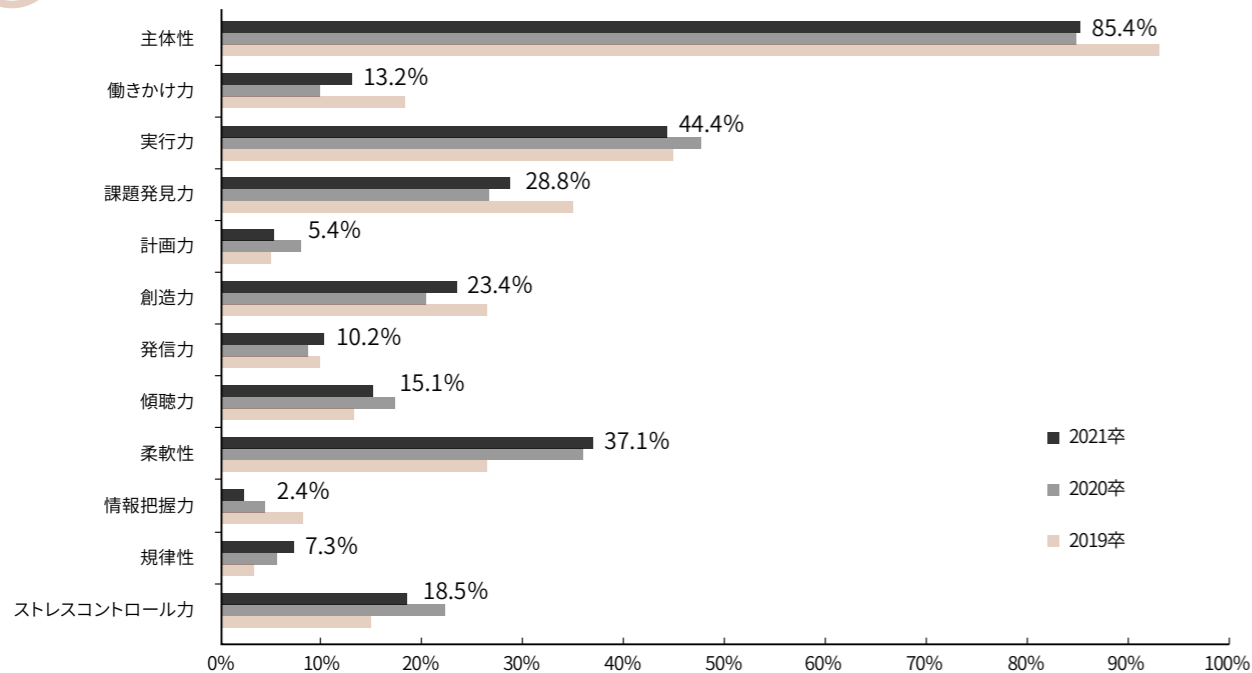
- やはり金銭的補助は非常に大きかった
- オンライン環境を整えてくれた

# ブンナビ×読売新聞が企業に聞いてみた (回答協力企業数222社)

文化放送キャリアパートナーズ『新卒採用戦線 総括2021』



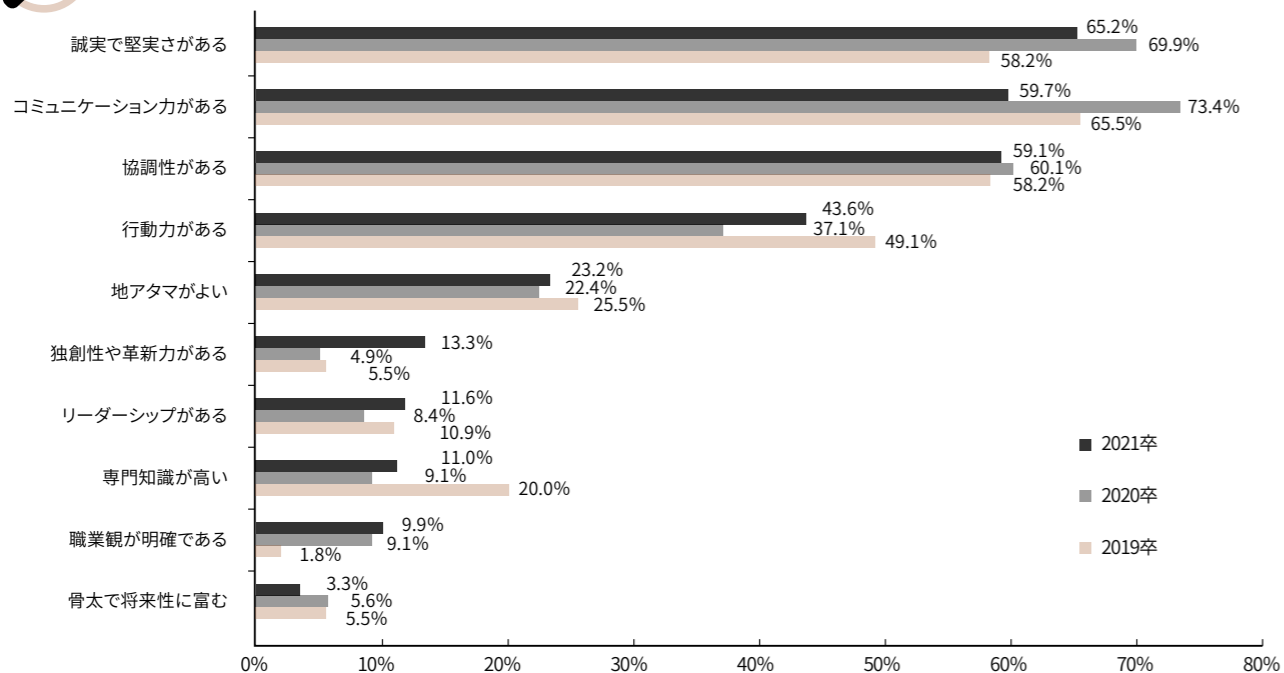
## 社会人基礎力の中で、学生に求める能力要素は何ですか？



1位：主体性、2位：実行力、3位：柔軟性という結果に。  
近年では、ストレスコントロール力も面接の中で判断している企業も増えている印象。  
業務で抱えたストレスを休日に発散し、切り替えられる力も大切になりますね。



## 内定学生への感想を教えてください。

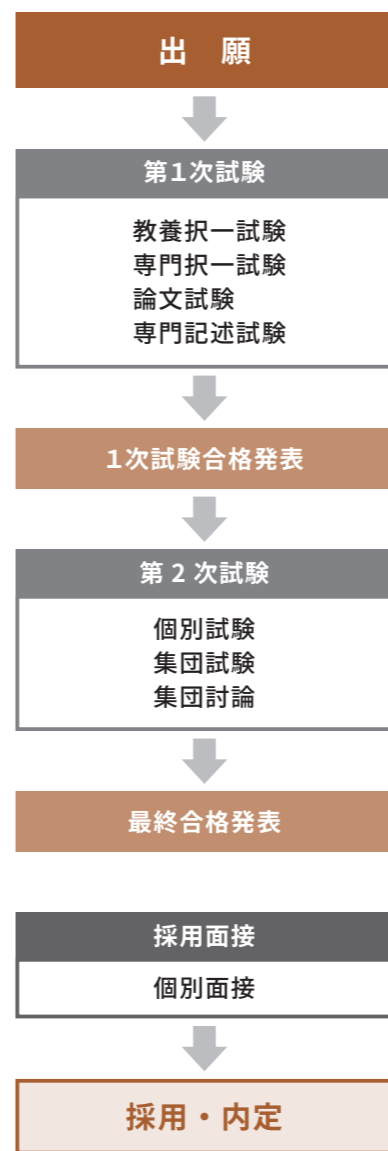


やはり一緒に働くうえで重要となる、誠実・堅実さ、コミュニケーション力、協調性は内定を出す際に欠かせない要素なっています。インターンシップが主流になってきているからこそ「職業観が明確である」というのも今後のポイントになりそうですね。

# 公務員採用について

公務員になるためには、公務員試験を受け、合格する必要があります。公務員試験は日程が異なれば併願も可能です。民間企業の筆記試験に比べ、試験内容の範囲が広いことに加え、民間企業の採用と同じように面接やグループディスカッションも実施されますので、早めの対策が必要となります。本ページでは出願から採用・内定までの流れ(一例)を示しています。参考にご覧ください。

## モデルケース



### 1 出願(3・4月頃～)

2～5月頃にその年の試験案内が自治体・職種ごとにホームページに公表され、3～4月頃から受験申込受付がスタートします。近年はインターネットによる受験申込受付が主流です。

### 2 1次試験(5・6月頃～)

筆記試験として教養択一・専門択一・論文択一・専門記述試験が実施されます。専門記述は国家総合職・外務専門職・東京都・裁判所一般職・国税専門官・財務専門官・労働基準監督官など、一部の職種のみで実施されます。  
※択一：五肢択一式でマークシートに解答する形式です。

### 3 2次試験(7・8月頃～)

1次試験合格者を対象に、人物試験として個別面接などが実施され、志望理由や自己PRに関する質問がなされます。個別面接はほぼ全ての公務員試験で、集団面接・集団討論は地方上級や市役所などで実施される傾向にあります。これを突破すると最終合格となります。

### 4 採用面接

最終合格者を対象に、主に個別面接が実施されており、受験生の意思確認を行う場となります。併願状況や複数の試験に合格した場合はどうするのかなどが問われます。なお、国家総合職や国家一般職(大卒)は、各府省および機関が実質的には採用面接として『官庁訪問』を実施します。

### 5 採用・内定(8・9月頃～)

原則として、翌年の4月1日からの採用ですが、既卒者・社会人は、10月から採用されるケースもあります。

※上記は、一般的な公務員試験のモデルケースです。試験実施時期や試験の内容、選考過程は自治体・試験種・年度により異なりますので、受験の際は必ず最新の試験案内をご確認ください。  
資料提供：資格の学校TAC [https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_komuin.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_komuin.html)

ブンナビ

公務員

公務員就職を目指す学生のための専用コンテンツ

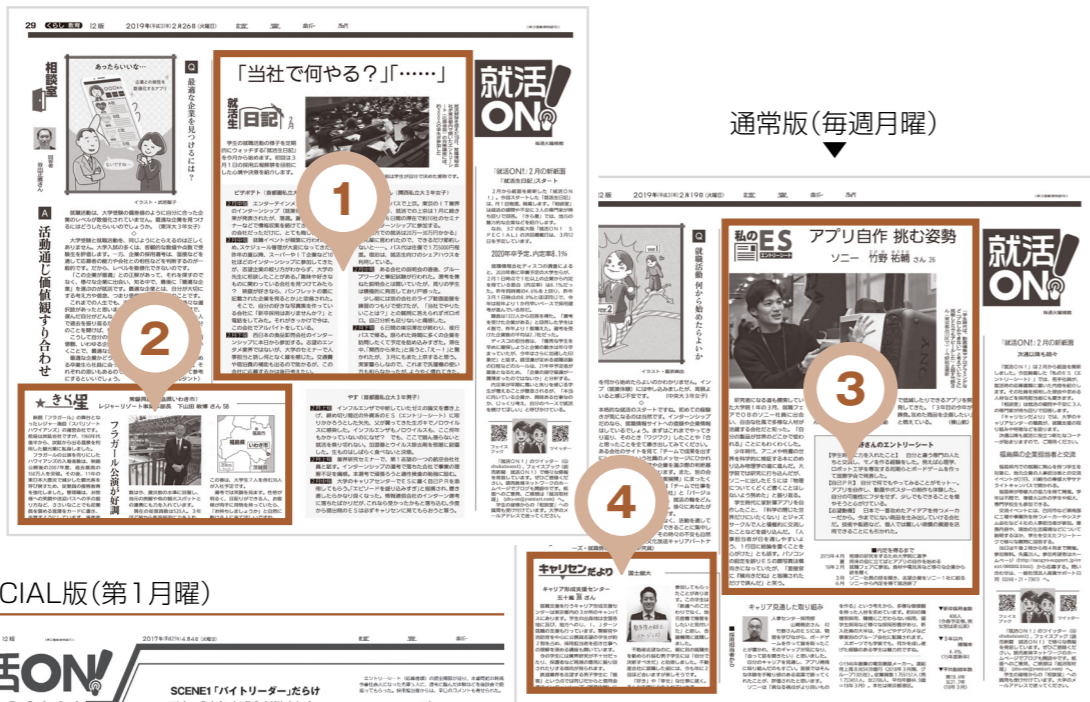
🔍 地域・職種・締切で検索できる!

就職情報サイト『ブンナビ!×読売新聞』では、公務員志望の学生支援も行っております。サイト内では、全国の自治体の採用情報を分かりやすく掲載し、地域や職種・締切などを絞り込み検索できます。また選考対策セミナーも実施しています。  
ぜひ、「ブンナビ公務員」で検索し、ご覧ください。



# 正確かつ濃い情報で、就活新聞月曜 読売新聞

読売新聞の月曜朝刊で展開中の就活生応援コンテンツ「就活ON!」。就活に特化した



通常版(毎週月曜)

▼SPECIAL版(第1月曜)



## おすすめコンテンツ(通常版)

### 1 就活生日記

学生の就職活動の様子を定期的にウォッチ。愛称で登場する学生が、自身の活動を赤裸々に報告します。

### 2 きら星

地方の優良企業や個性的な事業を展開する、魅力的な中小企業が登場します。

# 活戦線の今がわかる！ 朝刊「就活ON!」

情報だけをまとめて掲載しているので、じっくり目を通して今後の活動に役立てよう！

## 就活ON!はこう読む！

### 月に1度のSPECIAL版

第1月曜日は3ページの拡大版「就活ON! SPECIAL」を掲載。トップページで「働く」をテーマにした著名人のインタビュー、見開き面では就活に役立つ情報を図解付きで紹介しています。

### 取材班からのコメント

SPECIAL版は、掲載月の中旬以降に、大学のキャリアセンター、一部の大学生協で無料配布しています。紙面と連動し、ツイッター(@shukatsuon1)やフェイスブック(読売新聞 就活ON!)でも情報発信していますので、ぜひ登録をお願いします。

## 就活活動に「情報力」ブンナビ!2023 読売新聞 × 読売新聞ブンナビ会員限定! 就活生応援キャンペーン!

### 購読のお申込みでもれなく!

ビジネスバッグやスタンドライトなど就活にも役立つ有名デパート厳選の118種類を掲載したギフトカタログ「デパートめぐり」などをプレゼント!

### 無料お試し読みでもれなく!

就活に必携の虎の巻!先輩たちはこうして就活を成功させた!ブンナビ×読売新聞オリジナル就活特別冊子3冊セットなどをプレゼント!

### 3 私のES(エントリーシート)

人気企業に入社した社員が、就活時の応募書類に書いた自己PRや志望動機などの内容を紹介。

### 4 キャリセンだより

大学のキャリアセンターの職員が、就職支援の取り組みや特徴を語ります。

便利な

## 知っておくと 就活用語

### □エントリー / エントリーシート (ES)

企業へ応募することを「エントリー」、その際に提出する企業が独自に作成した応募書類のことを「エントリーシート」といいます。履歴等の基本情報に加え、志望動機や自己PR欄などを設けているのが特徴。複数企業に応募する場合は何通も書く必要があり、就活生は大きな負担を強いられます。

### □ガクチカ

「学生時代に力を入れたこと」を略した造語。エントリーシートや面接で聞かれることが特に多く、定番化している質問です。「力をいれた経験」だけでなく、その経験から「学んだこと」や「自分の強み」となったことを表現することが大切です。

### □グループディスカッション(グルディス)

グループで与えられたテーマについて討論・発表をする採用選考方法。役割分担や討論の様子を観察し、協調性やコミュニケーション能力、思考力や発想力、リーダーシップなどの能力を評価します。

### □OB・OG訪問

企業で実際に働いている先輩社員を訪問し、仕事内容や社内の雰囲気などを聞くこと。パンフレットやホームページではわからなかった働いている人の生の声は、その会社を判断する大きな要因となります。

### □お祈りメール

企業からの不合格通知メール。文末に「〇〇様の就職活動の成功をお祈りしています」などと書かれていることが多いため、こう呼ばれるようになった。最近は、合格者だけにメールを送り、不合格者には何の通知もしない企業もあり、「サイレント(沈黙)お祈り」と呼ばれている。

### □くるみん・プラチナくるみん

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた証。くるみん認定を既に受け、相当程度両立支援の制度の導入や利用が進み、高い水準の取組を行っている企業、一定の基準を満たした企業や法人などが厚生労働省によって認定されると使用できる。

### □ユースエール

若者の採用・育成に積極的で若者の雇用管理状況などが優良な中小企業に対し、厚生労働省から認定を受けた証。

### □えるぼし

2016年4月より施行された女性活躍推進法の取り組みの一つ。女性の社会進出や活躍を支援するための法律で、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業については、申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができる。



### 田宮 寛之 (たみや ひろゆき)

東洋経済新報社 編集局 記者・編集委員

東洋経済新報社に入社後、企業情報部記者として自動車、生保、損保、化学、食品、住宅、スーパー、コンビニ業界などの取材を担当。『週刊東洋経済』『会社四季報』『就職四季報』などに執筆。『週刊東洋経済』編集部デスクを経て『オール投資』編集長。2009年「東洋経済HRオンライン」を立ち上げ編集長となる。2014年「就職四季報プラスワン」編集長を兼務。2016年から現職。

#### <著書>

- 『2027年・日本を変えるすごい会社』(自由国民社)
- 『東京五輪後でもぐんぐん伸びるニッポン企業』(講談社)
- 『無名でもすごい超優良企業』(講談社)
- 『みんなが知らない超優良企業』(講談社)
- 『転職したけりゃ四季報のココを読みなさい』(徳間書店)
- 『四季報で勝つ就活』(三修社)
- 『親子で勝つ就活』(東洋経済新報社)
- 『規制緩和で生まれるビジネスチャンス』(東洋経済新報社)

## 就活で親が やってはいけないこと、 やるべきこと

就活生の親の平均年齢は50代前半です。この世代の就活と今の就活は大きく異なります。昔はインターネットが普及していなかったので就職サイトもオンライン面接もありませんでした。昔の経験をもとに子供にアドバイスするのはやめましょう。親は後ろから温かく見守り、子供が相談してきたら対応するというのが基本です。

### 就活で親がやってはいけないこと3つ

まず1つ目が、「とにかく内定を取りなさい」と言うのはいけないということです。知り合いの子供が複数の内定を取っているのに自分の子供はゼロだと、親はついこんなことを言ってしまう。しかし、真面目に就活している子供にプレッシャーをかけてもろくなことはありません。最近の学生は素直な子供が多く、このように言われるととりあえず内定を取ってきます。しかし、簡単に内定を取れる企業はブラック企業の可能性が高いのです。

ブラック企業には採用した人を長期雇用しようとの意識はありません。とりあえず採用して短期間こき使ってやめさせればよいと思っています。だから簡単に内定を出すのです。ブラック企業に就職しても長く勤務することはできません。1ヶ月以内で退職と言うこともあり得ます。こうなると次の仕事を見つけるのがたいへんです。ひとつの会社に3年以上勤めた後ならば、転職先を見つけるのは難しくありません。しかし、短期間で辞めてしまうと、勤労意欲の低い人物と見なされてなかなか採用試験に受かりません。

2つ目に、子供が内定を取ってきた企業について「そんな会社は知らない」と言うのはやめましょう。親が聞いたことがない企業の場合、その企業に対して否定的なことを言う親がいます。その上、「そんな会社やめなさい」と言うケースさえあります。

しかし、日本には上場企業だけで約3800社あります。毎年定期的に新卒採用している企業は2万社程度あります。親はそうした企業を全部知っているのでしょうか。知りもしないのに否定するのはよくありません。上場企業でなくても優良企業はたくさんあります。

3つ目は就職のために資格取得を勧めることです。就職試験では学生が2~3ヶ月程度の勉強で取れる資格は武器になりません。就活に役立たない資格取得のために労力を使うのなら、その力を企業研究に使うべきです。最近では就活のペースが早いので、十分に企業研究しないまま就職試験を受ける学生が少なくありません。採用担当者はこうした学生に対して強い不満を抱えています。企業についてしっかり調べた上で、その企業でやりたい仕事を面接で述べれば好感を持たれます。

### 口は出さずにお金を出す

親がやるべきことはなんといっても就活資金の援助です。就活にはお金がかかります。スーツはもちろん、それに合わせたコートやバッグなども必要です。さらに資料用の書籍代、交通費、時間をつぶすために利用するカフェの代金等が必要です。最近はオンラインによる会社説明会や面接が増えたので、昔に比べると交通費が少なく済みますが、それでも約10万円かかります。就活期間中はバイトをしにくいので、学生にとって就活資金は貴重です。お子さんは中途半端な知識をもとにした親のアドバイスよりも、黙って渡してくれた就活資金を喜ぶことでしょう。

COLUMN





**小野田 徹史** (おのだ てつし)  
読売新聞東京本社  
クロスメディア部長

1993年、読売新聞社(現・読売新聞東京本社)入社。  
川崎支局、横浜支局、新潟支局で警察や行政の取材を経験した後、経済部へ。証券、自動車・造船重機、建設・不動産、金融、流通業界で企業取材を担当。国土交通省、財務省、総務省で官庁取材を担当した。経済部次長、秘書部次長などを経て、2019年6月から新規事業開発部門のクロスメディア部。

## 「考え抜く」ことで 逆境を乗り越える

2023年卒業予定の大学生を対象としたブンナビ×読売新聞の就活セミナーが4月から始まりました。就活が前倒しになっている傾向を踏まえ、セミナーの開始時期も前年より早まりました。初回のセミナーには例年より多くの学生が応募し、前列の座席から埋まっていたのが印象的でした。学生たちの切迫感が伝わってきました。

切迫感の背景にあるのは言うまでもなく、新型コロナウイルスの感染拡大がもたらしている様々な社会不安です。学生たちのお父さん、お母さんが就職活動(シューカツという言葉は浸透していませんでしたね)に臨んだ頃は、バブル経済期、あるいはその後の就職氷河期でしょうか。どの世代も職探しには、自分の能力とともに、ときどきの経済情勢や社会状況が少なからず影響します。今が過去と比べてどれくらい大変なのかは、経済指標の読み取り方によっても評価が異なりますが、学生たちが抱く不安の大きさはあまり例がなかったことに疑いありません。

「ガクチカを語れないんです。どうしたらいいですか?」。大学生に聞くと、決まって口にするのは、「学生時代に力を入れたこと=ガクチカ」を面接でアピールできないことへの焦りです。講義はオンライン。サークル活動は休止。旅行はできず、アルバイトもままならない。コロナ禍に伴う行動制限は、人生の一大イベントである就活にも水を差すのではないかと。そんな不安を家庭でも共有する場面が多いのではないのでしょうか。

そうした声に対する明確な答えは、残念ながらありません。ただ、言えるのは①ライバルである同世代も同じ条件である②行動が制約されている分、自己分析や情報収集に時間を割くのが望ましい——ということです。

①について言えば、コロナ禍が吹き荒れる前に就活を行った学生に比べ、今の就活生は未曾有の厳しい時期を過ごしている分、様々なことをじっくりと考えているように見受けられます。こうした姿勢は、他の世代に対しては強みになり得ます。

では、どうやって同世代のライバルに差をつけるのか。②に示した「自己分析や情報収集に時間を割く」ことは、いつの時代も就活生が取り組んできたものです。そこに思考する時間をかけ合わせることで、効果は何倍にもなります。

就活にあたっての自己分析とは、「自分はこういうタイプだから、こういう企業が向いているのではないか」という見極めです。例えば、スタートアップ企業の多くは20~30代で構成され、発想が新鮮で、経営も機動的で、近い世代の同僚と切磋琢磨することでモチベーションが高まるタイプにはうってつけでしょう。反面、幅広い世代の価値観に触れる場面は少なく、多岐にわたる課題に取り組みたいのであれば大手企業の方が適しています。

同じ業種でも、会社によって特徴は多様です。セミナーに参加してくれたある企業の採用担当者は、「成長したいという意欲のある人に対し、成長を支援する」と強調していました。この言葉をどう解釈するか。やる気が旺盛な人に対して十分なサポートをするというですから、自律的にモチベーションを高められないタイプだと気後れするかもしれません。企業の考え方を探るには、こうしたセミナーを活用するほか、信頼できる情報にアクセスすることをお勧めします。企業はトップが示した方針を具体化する集団ですから、トップのインタビューなどを読むのも一法でしょう。

就活へのアドバイスとして、過去の体験談が役に立つことはあまりありません。自分の強みと弱みを分析し、情報と照らし合わせながら考え抜く。その努力は、面接担当者にも伝わることでしょう。そうした作業を家族が後押ししてあげることが、迂遠なようで実は近道ではないかと考えます。

# ブンナビ! 特徴

企業を徹底比較できる。充実した講座を利用できる。ブンナビ!を使いこなせば、自分に合った企業に、就職できる確率が高まる(はず!)

実は  
「ブンナビ」  
だけ

## 会社四季報のデータを使って 企業研究できる!!

会社四季報の掲載内容=株主への開示情報=【信頼性が高い数字】です。企業の「ホンモノ」の数字を無料で閲覧・並び替えすることができます。



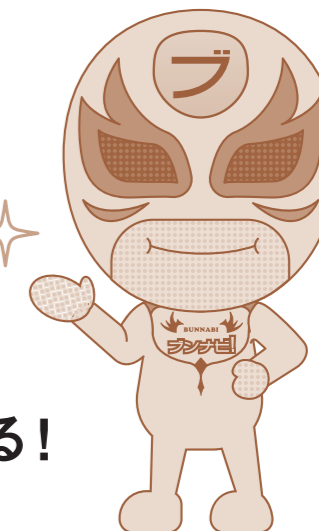
### ① 企業に聞きにくい情報もわかる!

本当は気になる  
ランキング



### ② ブンナビ独自の企業比較で 企業研究から志望動機まで スイスイできる!

### ③ 読売新聞の 就活お役立ちコンテンツも読める!



就活生応援  
特別企画

# START!

読売新聞 オンライン で情報力に差をつけよう!



ブンナビに登録すると…

読売新聞オンラインのほぼすべての記事を **半年間・無料** で読むことができます。  
(※紙面ビューアーなどを除く)



時事問題や業界研究の強い味方!!

就活準備にも活用できる、便利な機能をご紹介します!

- ▶ 新聞ならではの **速くて正確な記事**
- ▶ 気になる記事を保存できる「スクラップ機能」
- ▶ 志望する業界や企業名などを **キーワード** として登録できる「myニュース機能」
- ▶ 企業選びのコツやオンライン面接など **最新トピック** を盛り込んだメルマガも読める
- ▶ PCでもスマホアプリでも利用できる

面接で気になるニュースについて聞かれた!

●●業界の最新動向を知りたい!

時事問題&一般常識対策をしたい!



## 登録は簡単! 3STEP!

ブンナビ会員と読売新聞オンライン就活会員に **同時登録**

1 まずは **ブンナビ** へ  
アクセス!



読  
み  
取  
り  
は  
こ  
ち  
ら  
か  
ら

2 読売IDを取得するに  
チェック✓



3 読売ID(就活会員)  
同時登録完了!



ブンナビ! × 読売新聞 ▶▶ ブンナビは読売新聞社と提携し、就活生に役立つ情報の発信に取り組んでいます。